

学び舎に心を込めて

ありがとう

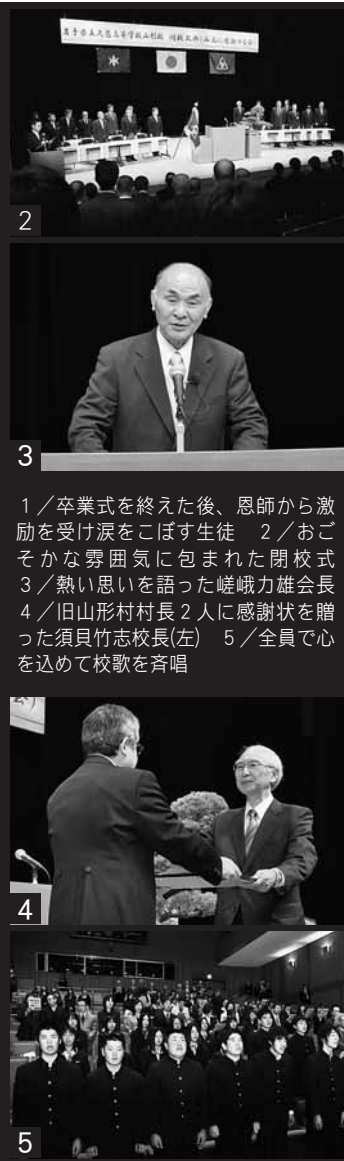
久慈高校山形校

■創立 昭和23年5月11日
 ■卒業生 約1,600人
 ■幾度の統廃校の危機を乗り越えて、61年の歴史を築いた。昭和49・50年度は入学90人で、ピーク時の生徒数は250人以上。しかし生徒数の減少から平成20年4月に募集停止。平成21年度で閉校を迎え、久慈高校と統合。



枝成沢小学校

■創立 明治17年11月17日
 ■卒業生 約800人
 ■地域に支えられ、126年の長い歴史を築いた。児童数のピークは昭和34年度で、全校児童は87人。児童数の減少などから平成21年度で閉校し、久慈小学校と統合。体育館は4月から中央公民館枝成沢分館として利用される。



地域の熱意に支えられた山高
 61年の歴史に幕降ろす

1 / 卒業式を終えた後、恩師から激励を受け涙をこぼす生徒 2 / おごそかな雰囲気にもまれた閉校式 3 / 熱い思いを語った嵯峨力雄会長 4 / 旧山形村村長2人に感謝状を贈った須貝竹志校長(左) 5 / 全員で心を込めて校歌を斉唱

枝成沢小学校（成田不美校長・児童5人）の閉校記念式典は3月21日、同校で開かれ、教職員や同窓生など175人が出席しました。

山内隆文市長の式辞と、市教育委員会の鹿糠敏文委員長の告辞に続き、成田校長は「地域とともに子どもたちの良さを引き出してきた学校。支えてくださった皆さんに心から感謝します」と、あいさつしました。

閉校記念事業実行委員会への感謝状贈呈の後は、別れの言葉。「すばらしい学校で学べたことは誇り。閉校しても学校は心の中でずっと生き続けます」と、児童5人が大きな声で思いを述べると、会場は拍手に包まれました。

最後は成田校長が校旗を返納し、全員で校歌を斉唱。感謝を込めた歌声で、学校に別れを告げました。式終了後には多くの人が見守る中、地域で協力して制作した記念碑が除幕されました。

地域とともに歩んだ枝成沢小の126年。最後まで地域に愛され、支えられ、長い歴史が閉じられました。

枝成沢小学校



地域とともに歩んだ枝成沢小
 126年の歴史閉じる

1 / 大きな声で学校に別れの言葉を送った5人の児童 2 / 閉校を惜しみ175人が出席 3 / 山内市長から感謝状が贈られた谷地秀人実行委員長(左) 4 / 末崎順一教育長に校旗を返納する成田校長 5 / 多くの人が見守る中、閉校記念碑を除幕

久慈高校山形校

最後の卒業式に続いて開かれた閉校式典には、卒業生と教職員、同窓生など約200人が出席しました。

須貝校長の式辞と、岩手県教育委員会の八重樫勝委員長の告辞に続いて、山高に感謝する会委員会の嵯峨力雄会長があいさつ。嵯峨会長は「わたしたちの心から山高が消えることはありません。山高、本当にありがとう」と熱い気持ちを述べました。

旧山形村村長と学校長への感謝状贈呈などの後は、生徒代表の下館聖也くんが「有終の美を飾り、卒業できることを誇りに思います」と力を込めてあいさつしました。

最後は全員で校歌を斉唱。それぞれが心に刻みこむように歌いあげた校歌が、会場に響きわたりました。

幾度の統廃校の危機を、多くの人の力と熱意で乗り越えてきた山高。多くの人に愛され、惜しまれ、61年の歴史に幕を降ろしました。